

トウ・エアカットバルブ取扱説明書



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

安全に関するご注意		対象品種
 注意	<ul style="list-style-type: none"> 本品は薬品・溶剤・鉱物油が混入したり、この種のガスがある雰囲気では使用しないでください。またこれらを使用して本品の清掃はしないでください。 ケースや内部のゴムバルブが劣化し、水漏れやエアカット機能を失う原因になります。 	全品種
	<ul style="list-style-type: none"> オゾンが発生する場所には使用しないでください。 ゴムケースが早く劣化し水漏れの原因になります。 	全品種
	<ul style="list-style-type: none"> 一般型タイプは屋内設置用ですので、屋外および軒下には取付けしないでください。 屋内型は紫外線により劣化が早まります。屋外および軒下に取付ける場合は、耐侯型または、ニューエアカットバルブのご使用をお奨めします。 	一般型は屋外使用不可
	<ul style="list-style-type: none"> 定期的点検してください。また長期間使用しない場合は運転前に必ず点検してください。 破損・劣化している場合は速やかに交換してください。またゴムバルブ内部に溜まっているゴミは取り除いてください。ドレンパンからあふれるなど水漏れの原因になります。 	全品種
	<ul style="list-style-type: none"> 接続パイプの挿入寸法は必ず守ってください。 特に差込過多はゴムバルブの動作不良となり、ゴムバルブが正常動作せず水漏れや空気のエアカット不良の原因になります。 	全品種
	<ul style="list-style-type: none"> 洗浄液で冷却器やパイプを洗浄する際は本品（天然ゴム）を侵す成分が無いことを確認してください。 天然ゴムに影響する成分（薬品、溶剤、鉱物油など）が含まれている場合は、本品を取外し洗浄液を十分に洗い流した後に再取付けしてください。 	全品種
	<ul style="list-style-type: none"> 本品に水圧が加わると接続部より水漏れする恐れがあります。 バンド締付け構造のため水圧印加は不適です。屋内設置や満水テストを行う場合は接続面全周をコーキングしてください。 	一般型 耐侯型
	<ul style="list-style-type: none"> 本品は空気を完全にカットするものではありません。接続部上下の圧力差によりゴムバルブが変形し空気が漏れる場合があります。 ゴムバルブには微小な隙間があり圧力の差により若干の空気の流通が生じます。 	全品種
	<ul style="list-style-type: none"> 本品は上下を正しく垂直に取付けてください。 横向きや傾斜の取付け、上下が逆になると正常な動作を行いません。 	全品種
	<ul style="list-style-type: none"> 接続パイプのズレで本品に不用な力が加わらないよう施工してください。 過大な応力が加わったまま使用するとケースの破損やゴムバルブの動作不良を起こします。 	全品種
<ul style="list-style-type: none"> 本品は水が氷結しない環境で使用してください。 ゴムバルブに残留している水分が凍るなどゴムバルブの動作不良を起こし、ドレンパンからあふれるなど水漏れの原因になります。 	全品種	

定期点検について

●安全に使用いただくため、定期的に点検を行ってください。

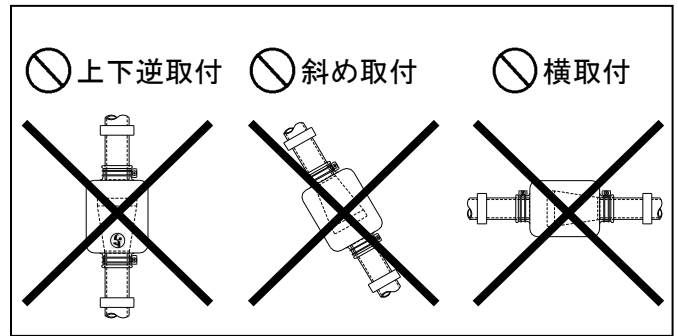
外観点検：外ケースのひび・割れの有無、接続パイプの接合具合・水漏れの有無など

内部点検：本器を取外して、ゴムバルブの封止機能を確認（絞りカール部の開き、ゴムの膨潤など）
ゴムバルブ内部のチェック（異物やごみの除去）

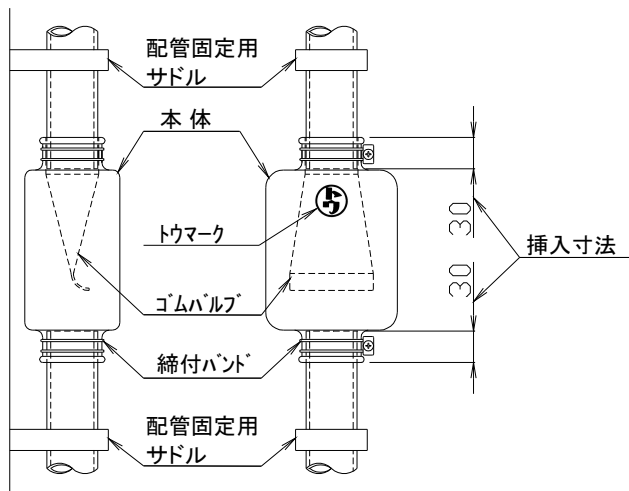
※アンダーラインで示した部位に異常があるものは性能劣化しています。早めに交換してください。

施工上のご注意

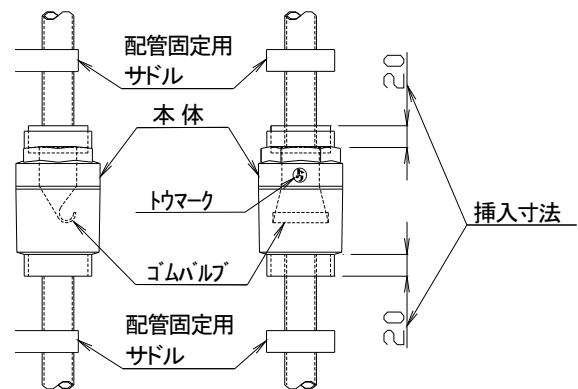
- トウマークの表示されている方向が上となりますので上下を間違えないようにしてください。
- 製品の機能が損なわれますので横向きや傾斜させて取り付けないでください。
- 配管のパイプはサドルなどにより確実に固定し製品に不自然な力が加わらないようにしてください。
- 配管のパイプは必要以上に挿入しないでください。挿入寸法をお守りください。



■一般型・耐候型




■ニューエアカットバルブ



保証および免責事項

- 保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。ただし、次の場合は除きます。
 - (1) 使用上、誤った使われかたをした場合
 - (2) 火災、地震、水害、その他天変地異などによる損傷
 - (3) 取り付けの不備による損傷および不具合

販売元

 東光器材株式会社

営業部

〒349-0101 埼玉県蓮田市黒浜3497

TEL 048-765-1188

FAX 048-764-2880

製造元

株式会社東光高岳

〒135-0061 東京都江東区豊洲5丁目6番36号